部局整理番号	
大臣確認番号	

組換えDNA実験計画書

			目すべてにチェ	ック	を入れ	ること。た1	ぎし、	遺伝子	Z組換	え実験と終	田胞融合
遺化	<u>険とは別様式と</u> 云子	微生物	<u>,9 ること。)</u> 使用実験 用実験			大量培 植物等					
細胞	受え実験 <u> </u>	細胞融	:历关歌 !合実験			但彻守	区州乡	三河火			
ו גבווו	課題名										
(]	実験計画書ごと	に異なる									
課題	題名を付けるこ	こと。)						J= 11	, , 1		
	経 費	Ī	文科省科研費 受託研究費 その他(営費交	付金)	奨字 <u>)</u>	寄付金	金	
実	験実施期間(5	年以内)		年	月	から		年	月	まで	
実	所属部局の	所在地									
験	所属部局·	・職名									
責	氏	名									
任	連絡	先	Tel			Fax					
者			E-mail								
	実験従事					別紙1の	とおり				
	実験の目										
	実験の概	; 安									
7	その他参考とな	る事項									
	情報公開への	対応	開示								
			非開示(理由	1:)	
	全委員会が本実 実施を適当と認		別紙 2 のとおり	j							
			委員長の所	属部	局・職	名・氏名					

(1)クローン化あるいは導入予定の核酸に関する情報(必要に応じて別紙に詳細に記載)

対象区分	遺伝子の名称等	DNA供与体 (生物の和名及び学名)	実験分類の区分	DNAの種類(ゲノム DNA,cDNA等)	同定・未同 定の区別	特記事項
А						
В						
С						
D						
Е						
F						

(2)宿主 - ベクター系(宿主・ベクターについては必要に応じて別紙に詳細に記載)

対象区分	宿 主 (学名・系統名等)	ベクター (名称や由来等)	認定・未認定の別 (認定宿主 - ベクター系の場合には その区分と名称;別表第1)	特記事項
ア				
1				
ウ				
エ				
オ				

「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令(平成16年度文部科学・環境省令第1号)及びその規定に基づき認定宿主ベクター系等を定める件(平成16年文部科学省告示第7号)」を参照

	(3)	実験ごとの	(1)	と(2)) の組合せ
--	-----	-------	-----	------	--------

実験番号	(1)における対象区分	(2)における対象区分	物理的封じ込めレベル(拡散防止措置) (下表から該当するものを 選択して記入)

物理的封じ込めレベル(拡散防止措置)

1.5 —		* (3.2.13.7173	_ <u>''</u>						
P 1	P 2	P 3	P 4	P 1 A	P 2 A	P 3 A	特定飼育区画		
P 1 P	P 2 P	P 3 P	特定網室	LSC	L S 1	L S 2			
その他 (!	その他(特例で認められている事項を記載すること。)								

(4)上記封じ込めレベル(拡散防止措置)と判断する根拠(*脚注参照)

(3)における 実験番号	根拠(具体的に記入)

^{*}規則に則って封じ込めレベルが自明に決定できると判断した場合には、この項目の記載は不要です。封じ込めレベルが一義的に決定できないにもかかわらず、申請者がその封じ込めレベルを申請する場合にのみ、そう判断した理由を具体的に記入してください。

本申請が細胞融合実験である場合は,次の(5),(6)を記載してください。 なお,細胞融合実験は全て大臣確認実験となるため,文部科学省指定の様式による申請書を併せて提出願います。

(5)細胞融合に関する実験(科を越える生物種の細胞融合実験が該当)

<u> </u>	H100102 H 1-1717 - 0 7 4 13	. (- - - -	1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	- H	
対象	 融合に供する細胞		細胞の特性	由来する生物種の特	
区分	の種類	由来する生物種	(安全性に関する	性(安全性に関する	特記事項
	マン 小主人穴		情報)	情報)	
ı			l		i l

(6)実験ごとの(5)における組合せ

(3)における 実験番号	における対象	区分	安全性を確保するための物理的封じ込めレベル (拡散防止措置)((3)の下表から選択して記入)

(/) 退伍于紐換え生物寺の美	長験終「俊の措直
	のみ記入してください。(゛下記項目は「大臣承認実験」申請の場合
	IA組換え実験安全委員会及び名古屋大学DNA組換え実験安全委員会」た
	f者が予め判断する場合にも記載してください。記載が不足していると
安全委員会が判断した場合は、	安全委員会から記載の追加を求められることがあります。)
1	
核酸供与体の特性及び生物学的リ	
スク	
2	
供与核酸の特性	
2	
3 1	
ベクターの特性(伝達性、宿主依	
存性を含む)	
4	
宿主の特性(遺伝子交換範囲とそ	
の機構を含む)	
5	
遺伝子組換え生物等の特性(宿主	
との相違を含む)	
6	
組換え動植物作出時における	
DNA導入の段階及びその方法	
7	
大量培養実験に係る組換え微生	
物、組換え動植物又は組換え体を	
接種した動植物の封じ込め措置	
(拡散防止措置)	
8 8	
○ 個体管理方法	
四件各注分/公	
9	
個体の子孫と管理方法	
10	
10	
遺伝子組換え生物等の不活化の方	
法	

(9)拡散防止措置に係る施設・設備

			実験室名()
			認定されてい	る封じ込め	レベル		
			P 1	P 2	P 3	P 4	
			P 1 A	P 2 A	P 3 A	特定飼育区画	
実験	場	所	P 1 P	P 2 P	P 3 P	特定網室	
			LSC	L S 1	L S 2		
			その他 ()	
			別紙図面のと	おり			
		_					
位		置					
/□+ 4 ⊃ □ Δ	🖶	·FΑ Λ +→					
組換えDN							
じ込め等に		の設備・					
伸	造等						

実験 従事者

氏 名	所属部局・職名	病原性微生物取扱 い経験の有無	宿主の取扱い 経験の有無	組換えDNA実 験経験の有無

【安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由】